

付属語

NO. 1

● 付属語を見つける

手順① 文を文節に分けよう！

私は／海が／好きだ。

手順② 文節を単語に分けよう！

私・は／海・が／好きだ。

手順③ 自立語・付属語に分けよう！

私・は／海・が／好きだ。

ヒント

手順①：「くね」で分けてみよう。

手順②：単語は言葉の（最小単位）。

手順③：自立語の方が見つけやすい。

・自立語の特徴は（文節）に必ず（一つづつ）あり、必ず

（文節の頭）にくる。それ以外が（付属語）ということ。

では、文節、単語に分けて、付属語を見つかけよう！

① 私・は／海・が／好きな・ので／沖縄・に／行っ・た。

② 君・は／本当に／優しい／人・だ・ね。

③ 体育館・まで／歩く・の・さえ／嫌だ。

④ ずっと／やっ・ても／終わら・ない。

● 助詞を見つける

手順① 付属語の中から活用のない語を探そう

① 今日・の／給食・は／何・だろ・う・か。

② 花・が／校庭・に／たくさん／咲い・た。

③ 「やめ・て・よ。」と／言わ・れ・た。

④ よし、／今日・も／大丈夫だ・な。

⑤ 君・の／犬・が／犬小屋・で／寝・て／いる。

⑥ よい・とか／悪い・とか・は／どちら・でも／よい。

⑦ 牛乳・だけ／買い・まし・た。

ヒント

「活用①の：ない語の尾は、変化する。」

● 格助詞：主として（**体言**）に付き、それと下の語句との（**関係を示す**）助詞。

問一 次の各文の――線の格助詞「で」の働きを後から記号で答えなさい

① 大雪で電車が止まった。 （オ）

② 筆であて名を書く。 （イ）

③ 駅の改札を出たところで待ち合わせる。 （ア）

④ きれいな折り紙で鶴を作る。 （ウ）

⑤ 五分間で戻ってきなさい。 （エ）

ア 場所 イ 手段 ウ 材料 エ 限定 オ 原因・理由

格助詞「の」の3つの役割

一、（**連体修飾語を示す**）：主語に説明を加える。

二、（**主語を示す**）：「が」に置き換えられる。 （例）君の笑顔は美しい。

三、（**体言と同じ資格**）：「〜こと」「〜もの」に置き換えられる。 （例）虹の見える場所。

（例）話すのがつらい。

格助詞の問題：「の」の区別をしよう！

問二 次の各文の――線の格助詞「の」の働きを後から記号で答えなさい

① 君の嫌いなことを教えてください。 （イ）

② とても強いのかと思っていた。 （ウ）

③ 朝の牛乳はおいしいね。 （ア）

④ 中国の留学生を迎える。 （ア）

⑤ おばけの出る山はあるのでしょうか。 （イ）

⑥ 自分の犬に吠えられる。 （ア）

⑦ もっと新しいのがいい。 （ウ）

⑧ 風の吹く方へ行く。 （イ）

ア 連体修飾語を示す。イ 主語を示す
ウ 体言と同じ資格を与える（準体言詞）

付属語

NO. 3

● 副助詞…（**いろいろな単語**）に付いて、（**様々な意味**）を付け加える助詞。

例 今日だけ寒い。

例 終わりの見られなかった。

問一 次の文から助詞を○で囲み、副助詞を見つけ、横に副と書きなさい。

- ① 一時間も○あるけど○これだけ○しか○できない。
- ② 体育館まで○歩くのさえ嫌だ。
- ③ よいとか○悪いとか○は○どちらでも○よい。
- ④ 一人ずつ○入って○きてね。
- ⑤ やれば○やるほど○うまく○なる。

問二 各文の□の中にあてはまる副助詞を書き入れなさい。

- ① 一人の力□**だ**□□**け**□で成功するはずがない。
- ② コーヒー□**で**□□**も**□入れましょうか。
- ③ 部屋にはいっぱいいると思っただけけど、犬一匹□**し**□□**か**□いない。
- ④ 優しい□**と**□□**か**□、和やかだ□**と**□□**か**□言われる。
- ⑤ ニキロ□**く**□□**ら**□□**い**□歩いた。
- ⑥ 今日は負けたが、今度□**こ**□□**そ**□勝つぞ。
- ⑦ えっ、彼だけじゃなく、君□**も**□行くのかい。

問三 次の副助詞は、どんな意味を付け加えているか、あとから選びなさい。

- ① 子供にまで笑われる。 (**エ**)
- ② 雪に雨さえまじった。 (**ク**)
- ③ だれか持って来ましたか。 (**オ**)
- ④ 今日からは三年生です。 (**ア**)
- ⑤ 一人ずつ入ってきてね。 (**カ**)
- ⑥ 水さえあれば生きていける。
ア強調 イ軽くみなす
カ割り当て キ限定
ウ動作の直後 エ他を類推
ク累加 (**キ**)
オ不確か

● 接続助詞：主として（**つなぐ**）助詞。（**順接**）に付き、前後を（**並立**）（**補助**）（**逆接**）の関係がある。

① 順接（上の文から当然の結果がくる）の関係でつなぐ

「から・ので・ば・と・て（で）・なり」

新しいから丈夫だ。（順接・確定） 高いので買えない（順接・確定）
 やすければ買う。（順接・仮定） 雨になると困る。（順接・仮定）
 帰って休む。（動作の推移） 重くて持てない。（原因・理由）
 家に帰るなり、テレビを見る。（直後に動作が続く）
 風が吹けば、波が立つ。 ある条件が備わると、いつでもあること
 風が吹くと、波が立つ。 が起こる場合の条件を示す。

② 逆接（上の文から意外な結果がくる）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・のに・ても（でも）・と・て（で）・ながら・つつ」
 冷たいが、平気だ。（逆接・確定） 晴れたが、また曇った。（対比）
 勉強したけれど、成績はよくない。（逆接・確定）
 暑いのに汗をかかない（逆接・確定）
 読んでもわかるまい。（逆接・仮定）
 混乱しようと関係ない（逆接・仮定） 見て見ぬふりをする。（逆接）
 知っていないながら教えない。（逆接） 知りつつ知らん顔（逆接）

③ 並立（上と下が対等）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・ば・ながら・し・たり（だり）・て（で）・つつ」
 才能もあるが（けれども）努力もある。（並立）
 血もあれば涙もある。（並立） 食べながら歩く。（並立）
 歌いつつ舞う。（並立） 優しくて親切だ。（並立）
 行ったり来たりする。（並立） 忘れてたりして悪い。（他を類推される）
 風邪も吹くし、雨も降る。（並立）
 よく休むし、困る。（他を類推される）

④ 補助の関係でつなぐ

「て（で）」
 聞いてみる。 わかっている。 積んである。

付属語

NO. 5

接続助詞の問題

問一 適切な接続助詞を入れなさい。

- ① もう暑い（**から・ので**） 扇風機を出した。
- ② 疲れた（**が・けれど・のに**）、まだ続けたい。
- ③ 話し（**ながら**）歩いた（**から・ので**）、前の人にぶつ かった。
- ④ 起きる（**なり**）、新聞を取りに行く。
- ⑤ 後ろを向い（**たり**）立ち上がつ（**たり**）して、君は落ち着きが ない。
- ⑥ 彼なら（**ば**）、きっと勝つ（**ても**）満足しない。

問二 次の接続助詞の種類を答えなさい。

- ① 負けそうだけれど、絶対にあきらめない。 （**逆接**）
- ② 寝坊をしたので、電車に乗り遅れる。 （**順接**）
- ③ 明日雨が降れば、遠足は中止だ。 （**順接**）
- ④ 血もあれば涙もある。 （**並立**）
- ⑤ 彼はなんでも知つている。 （**補助**）
- ⑥ この製品は新しいから丈夫だ。 （**順接**）

接続助詞の問題：「と」「の」の区別をしよう！
問三 次の各文の 線の「と」が、格助詞であれば「ア」、接続助詞であれば「イ」と答えなさい。

- ① 一人前の職人と話す。 （**ア**）
- ② 変身してライダーとなる。 （**ア**）
- ③ 「やめてください。」と言われた。 （**ア**）
- ④ 夏になると海に行こう。 （**イ**）
- ⑤ さばると怒られた。 （**イ**）

付属語

NO. 6

●終助詞：

て、話し手・書き手の（**文節の終わり**）に付いて、（**強調**）・（**疑問**）・（**禁止**）や態度を表す。（**呼びかけ**）などの意味がある。

問一 次の終助詞は、どのような気持ちを表すかを答えなさい。

①この 店 は なつかしい なあ。 （**感動**）

②次 は どう する の。 （**疑問**）

③絶対に 部屋 から 出る な。 （**禁止**）

④よし、 今日 も 大丈夫だ な。 （**念押し**）

⑤ゴール まで もう すぐ よ。 （**呼びかけ**）

問二 次の終助詞と同じ意味のものを選りなさい。

ねえ、そろそろ休もうか。

（**ウ**）

ア このままでいいのか。
イ いよいよあなたも行きますか。
ウ 私ともダンスを踊りませんか。

問三 次の各文の —— 線の終助詞「か」の意味をあとから選り、記号で答えなさい。

①作品の仕上がりはどうですか。 （**イ**）

②どうしたら許してもらえるのだろうか。 （**ア**）

③そろそろ終わりにしようか。 （**ウ**）

④さて、行こうか。 （**ウ**）

⑤君は本当にこんなものか。 （**エ**）

ア 疑問 イ 質問 ウ 勧誘 エ 反語

● 助動詞：付属語で活用がある品詞

れる・られる」

(受け身・自発・可能・尊敬)

①「受け身」とは、「くがくに(から)くれる(られる)」となる。
「くに」の部分は省略されることもある。

*わたしが先生にはめられる。

②「自発」とは、自然とそういう気持ちや事態になる、という意味。
「思う」「感じる」などの語につく場合が多い。

*町を寂しく感じられる。(自然とそうなる)

③「可能」とは「できる」という意味。「られない」は不可能を表す。
「くすることができる」といい換えができる。

*全然見つけられない。(見つけるのができない)

④「尊敬」とは目上の相手への敬意を示す。(おくになる)

*先生がみななへ話される。

問題 1 次の文の「れる」「られる」の意味を答えよ。

1	使い慣れない言葉では、ものは考え <u>ら</u> れない。	(	ウ	)
2	いま入って来 <u>ら</u> れたかたが会長さんです。	(	エ	)
3	校長先生が賞状の言葉を読み上げ <u>ら</u> れました。	(	エ	)
4	故郷の友が懐かしく思い出 <u>さ</u> れる。	(	イ	)
5	この問題は、人々に関心を寄せ <u>ら</u> れている。	(	ア	)
6	あなたにお話ししないでは <u>い</u> られませんでした。	(	ウ	)
7	母に悲しまれる <u>よ</u> うなことはしたくない。	(	ア	)
8	やはり先生の言わ <u>れ</u> たことが正しかった。	(	エ	)
9	山の中腹あたりでしばらく雨に降 <u>ら</u> れた。	(	ア	)
10	友達としての好意がしみじみと感 <u>じ</u> られた。	(	イ	)
11	ただ黙って <u>い</u> ては、誤解さ <u>れ</u> てもしかたがない。	(	ア	)
12	私にはむずかしくてはつきり答 <u>え</u> られません。	(	ウ	)

ア 受け身 イ 自発 ウ 可能 エ 尊敬

●助動詞：付属語で活用がある品詞

ようだ（比況・推定・例示）

- ①「比況」は何かのたとえであることを示す。「まるで」の形など
- ②「推定」は確かな根拠に基づいて推量すること
- ③「例示」はわかりやすく例として示すこと

問題1 次の「ようだ」の働きを答えなさい。

- ①今夜は、どうやら雪になるようだ。
(イ)
- ②港町とは、神戸のような街を言う。
(ウ)
- ③あまりに突然で、まるで夢のようだった。
(ア)
- ④さらにがんばるようなら、応援しよう。
(イ)

ア 比況 イ 推定 ウ 例示

そうだ（様態・伝聞）

- ①「様態」は「どういう様子だ」の意味
*まもなく始まりそうだ。
- ②「伝聞」「〜という話だ。」の意味
*まもなく始まるそうだ。

問題2 次の「そうだ」の意味を答えなさい。

- ①大きく揺れて今にも倒れそうだ。
(ア)
- ②あの家には誰も住んでいないそうだ。
(イ)
- ③天才は九十九パーセントの努力だそうだ。
(イ)
- ④この分なら信頼して良さそうだ。
(ア)

ア 様態 イ 伝聞